

令和 元年 6 月 5 日

保護者各位

松山城南高等学校長 河野大助

人権・同和教育講演会のご案内

紫陽花が大輪の花を咲かせる季節となりました。保護者の皆さまにはますますご清祥のことと存じます。昨年度は「うまれる」と題したドキュメンタリー映画を鑑賞し、自分たちが生まれてきた意味や家族の絆、命の大切さ、人とのつながり、そして「生きる」ことを考える時間を共有することができました。

さて、今年度は「あるひとりの視覚障がい者」と題し、愛媛の誇るパラリンピアン、矢野繁樹選手にお越しいただきお話をいただくことになりました。

矢野繁樹選手は、パラリンピックに3度出場し、シドニーパラリンピック400mリレーのアンカーとして銀メダルの経歴の持ち主です。同時のT11クラス200mと4×100mリレーの記録が、日本記録として今も残っています。引退していましたが、2016年に愛ストリートクラブの設立を機に選手として復帰しています。2018年全国障がい者スポーツ大会福井大会で、100mと200m金メダルを獲得されました。現在愛媛県立盲学校の教員もされています。

矢野繁樹選手が言われています。「皆さんと一緒に心をつなげ、笑顔を広げ、感動を共にしていきたいです。」映像と共に矢野繁樹選手からお話をお伺いし、一緒にワクワク、パラ競技を知ってワクワク、すべてのワクを取り払い感動を共にできたらと思っています。

そして人権意識の高揚につながれば幸いです。

ぜひ保護者の皆様にもこの機会に参加していただければと思います。ご案内申し上げます。

講 演 : 「あるひとりの視覚障がい者」

講 師 : 矢野繁樹選手（パラアスリート、盲学校教員）

場 所 : 本校 体育館

時 間 : 令和元年6月14日（金）13:30～15:00